

こゝに一寸兩者の關係に就て云ふことがある。昔から小説家は、大抵併句を作つたと云てよい。今日でも小説家中に併句をやる人が随分ある。併し其等の人の句は如上の小説的併句か、若しくは重みのある句が多くて、併句獨特の輕みのある句は、どうも稀にしか見受けないうである。又輒近併句から出發して小説に踏入ると云ふ人が追々出て來るやうである。漱石は其最著しい者であるが、どうもまだ全體の上から見て断片的で、いはゞ獨立した併句がいくつも列んだのみ、のやうな小説であつて、小説獨特の重みと大きい統一が無い。僕はこの兩者が愈相交つて其結果兩者ともに範圍が廣がらむとを切に望む者である。(完)

明治四十年五月十一日印刷
明治四十年五月十五日發兌

〔定價金四拾錢〕

著作權所有

著者

沼波 武夫

發行者

伊東芳次郎

印刷者

山田 英二

印刷所

博文館印刷所

發行所

東京本郷區
本郷一丁目

電話下谷一九三八
掛號的全二七一

東亞堂書房

大賣捌

(東京) 滿山房 前川
東京堂 林平
至誠堂 武藏屋
(大阪) 寶文館 (京都) 若林
(市) 杉本 (福岡) 菊竹
(松村) (熊本) 長崎

見よ 東亞堂 大益便

東亞堂

郵便振替貯金に加入仕居候間、御註文の節爲替料、郵便料、書留
ざる御便利有之候。葉書或は電話にて、御註文の書名、著者の姓名、冊数等御申
越被下候へば、直に現品の有無、及其代價郵税、並に御送金の手續き等に關す
る委細の説明書御送附申上候。

東亞堂

自店出版の書籍の外、各出版元と特約の上、博く内外の
販賣致し候間、何種書籍、如何なる書店發刊の圖書を不問、陸續御註文奉願
上候。

東亞堂

は品切れ、又は自店に持合せなき品と雖も、御註文の節は諸方搜索、能ふ限り
御便宜を圖り可申候間、何品に不拘御註文奉願上候。

東亞堂

は書籍に關する讀者各位の御問合せに對しては、極めて懇切に、又迅速に御
回答申上候間、必ず返信用郵券を添へ御照會被下度候。

東亞堂

は御註文品は多少に不拘、其都度敏速に發送仕候間、代價郵税共、必ず前金を
添へ（郵便爲替なれば本郷一丁目郵便取扱所渡りに、郵券代用なれば一割増に
て）御送附被下度候。但し往々收入印紙御道の諸賢も有之候へ共此儀は堅く
御断り申上候。

東亞堂

は更に出版部奮て良書を發行致し、益々讀書界に貢獻仕度き微意
を擴張の上、偏に奉懇願候。

文學士 佐々醒雪先生序

小杉未醒君裝釘

文學士 沼波瓊音先生著

好評

俳句講話

五版

美裝全一冊
定價四十錢
郵税六錢

俳句は如何にして作るべきか、俳句は如何にして味ふべきか、抑も俳味なるもの
は果して那邊に存するや。本書は此等一切の問題に興味饒き解案を與へ、以
て乾燥せる現時の人心に一味の清風を點せんとす。何人と雖も案頭一本を缺く

へからず。

發行所 東京本郷一丁目 東亞堂書房

文學博士 芳賀矢一先生序
文學士 沼波瓊音先生著

東京市日本橋區
樽正町一番地 文祿堂發行

俳論史

美本 全一冊 定價三十錢(郵稅四錢)

本書は史と名附くれど單に事實の臚列には非ず古今諸俳人の言論の其深玄なる意味を最叮嚀に紹介せり由來俳人は一種の眼を有す物の表面を見ると共に必ず物の側面を見裏面を見其中心を洞觀するが故に其言ふ所活けり躍れり俳人の俳論は歌人の歌論詩人の詩論さては今の所謂文學者先生の文學論と同一視すべからざるなり抑一道の達人の言は其道に於てのみならずして普遍的の價值あり俳論史は俳人の讀むべきものなると共に俳人以外の作家等も讀むべきものなり必ずや偏狹なる主義趣味を脱して豁然として大悟せよ。

大 捌 賣 東 亞 堂 書 房 東 京 市 本 橋 區 本 町 一 番 地

幸田露伴先生著

總クローズ洋裝閑雅

新刊 小説はるさめ集

菊大判全一冊
定價七十錢
郵稅八錢

●本書の内容

一口劍 三篇

風流佛 十二段

みれん 五章

先生の名作中、刊本已に絶えて其得易からざるもの三卷を收む。眞に文壇の希寶たり。

發 行 所 東 京 市 本 橋 區 東 亞 堂 書 房

著生先伴露田幸

參版 潮待ち草

潮待ち草は露伴先生の、隨筆也、自然觀也、人世觀也、はた社會百般の事物に對する觀察録也。詩を談じ、文を品し、史を論じ、處世を説きて、眞に他の企及すべからざる妙趣あり。以て品性修養の資とすべく、以て後進の文を學ぶの範とすべし。附録『土偶木偶』の一篇も、亦先生が近作小説中の白眉にして、相俟つて讀者家諸君が案頭の光彩たらむ。

菊大判全一冊
體裁優雅
定價八拾五錢
郵稅八錢

近刊 賴朝

(印刷中)

英雄由來風流事に富む、而かも我『賴朝』の情話の如く、波瀾、曲折の妙を極めたるは、蓋罕なり、露伴先生夙に頭大公が情の半面に心を潜めらるゝと久しく、博參考證、遂に斯の一篇を成す。燃ゆるが如き青春の戀に惱める英雄の俤は、當代の文豪が靈犀の詩筆に依つて讀者の眼前に躍如たらむ、當に之れ近時文壇の一大偉觀!

幸田露伴先生著
沼田穎川先生註

▲高評再版▼

註釋 二日物語

全一冊總クローズ
金文字入美裝
定價四十錢
郵稅四錢

二日物語は露伴先生が、傑作中の翹楚たり。今其全文を引きて精到なる註釋を加ふ。『此一日』の何ぞ凄婉にして、『彼一日』の何ぞ悲哀なるや、渾身是れ詩の權化たる西行法師の心胸を活寫せし此一大名篇は、本書に依りて更に讀者と近親の便を加へたるものと稱すべし。

發行所 東京市本郷區 東亞堂書房

發行所 東京市本郷區 東亞堂書房

野口米次郎先生新著

阪井紅兒畫伯畫

大歡迎 邦文 日本少女の米國日記

菊大列全二册
洋風美術的製
本定價七十五錢
郵稅八錢

ハイカラ一式部「朝顔嬢」の無邪氣にして大膽なる觀察記。英文「日本少女の米國日記」を和譯せし物。英學生諸君が原文解讀の好參考書たるべきは、著者が自ら「元來自分の著者故、意味の間違つて居る點は斷じて無し」といへるにても知り給へ、警句妙語篇に満ち、一讀卷を釋く能はざる興味あるは、當年歐米の文壇を風靡せし珍書として、已に世界に高評ある所也。

秋元蘆風先生譯

▲袖珍新形美裝▼

最新刊

シルレル詩集

全一册百九十頁
插畫七拾葉
定價四拾錢
郵稅四錢

獨の詩聖シルレルが名篇を、獨詩の和譯を以て盛名ある蘆風先生の慘愴たる經營を費して邦詩型に譯されたもの。彬々たる先生が麗藻は、幽婉なる詩聖の妙想と相俟つて、一誦恍惚たらしむるの興趣あり

發行所 東京本郷一丁目 東亞堂書房

東京帝國大學講師
東京高等商業學校教授
早稻田大學講師

張廷彦先生校閱

清國北京張毓靈先生
日本東京宮澤文次郎先生 合著

官話速成篇

洋裝全一册
定價三十五錢
郵稅四錢

本書は張毓靈、宮澤文次郎兩先生が多年教授上の實驗に基づき支那語官話の教科書として編纂せられたるものにして、一々張毓靈先生の嚴父張廷彦先生の周密なる校閱を経られたる最新完全の良書也。

清國北京張毓靈先生
日本東京宮澤文次郎先生 合編

東語速成篇

洋裝全一册
定價十五錢
郵稅四錢

官話速成篇の總譯にして一は以て清國人にして本邦語を學ぶ者の參考書たらしめんことを期したる物學者兩書を對修せば得る所更に饒からむ。

官話速成篇

洋裝全一册
定價五十一錢
郵稅六錢

官話速成篇と東語速成篇との合本なり。

發行所 東京本郷一丁目 東亞堂書房

德富蘆花先生序 角田劍南先生著

高評 再版 時文 理趣 情景

健實の想、莊麗の文、現今文壇評論家の泰斗として、よく理を盡し情を察する者は實に我劍南道士に非
や。本書は君が讀實新聞の日報文學紙上に於ける、社會、文藝、思潮、人物等に關する獨特の評論に
自然、人生、美術、哲理等に對する隨時の感想、時文等を加へ、風雲の氣、兒女の態兩つながら併せ得た
るものにして、近時讀者社會の耳目を一新すべき快著也。

全一冊體裁瀟洒
定價四拾錢
郵稅六錢

茅原華山先生著

渡邊國武先生題詞
黑岩周六先生贊論
佐々木信綱先生題詠
三宅克己先生畫
齋藤松洲先生畫

好評噴々第八版發賣
動中靜觀

全一冊定價四拾錢郵稅六錢

華山先生の文は世既に定評あり西園寺附庵侯は「恰も蘇老泉の文を讀むが如し」と稱せられ渡
邊無邊老侯は「山淺間、物産生絲、湖水諏訪、文章華山、武官福島」と謳はれ而して黒岩深香
先生は實に「其趣味の博きこと時人及ぶ者少し」と贊論せられたり本書は先生が半生の思想史
にして又觀察史也篇を分つこと八其趣味の多様なる其文詞の流麗なる近時出版界の一異彩た
り敢而大方の瀏覽を俟つ。

發行所 東京市本郷區 東亞書房

在米國 茅原華山先生著

高評 再版 世界文明推移史論

菊大判全十一冊
定價八十五錢
郵稅八錢

本書は筆を東北と九州に起し日本海岸と太平洋岸諸國の論評より亞細亞文明の東漸を論じては儒教と
佛教の批評となり歐洲文明の西漸を論じては希臘羅馬の文明及基督教の批判となり歐洲の衰運米國の
勃興日本文明の西漸を説きて朝鮮支那露國等の國俗民情に及び博く地理學、史學、人類學等に亘り歐亞
兩文明が各東西に推移せし史上の事迹を詳論して日本の眞價及日本の世界に於ける關係的位置を發見
し以て我大和民族の天職の存する所を指點す眞に刻下同胞必讀の快著也。

大日本催眠學會々長小野福平先生著 (大日本催眠學會藏版)

催眠術治療精義

菊大判全一冊金文字入洋布美裝
正價九拾錢 郵稅八錢

本書は、大日本催眠學會長として、本部催眠術研究家の先覺者たる小野福平先生が富瞻なる學識と、多
年の實驗とを基礎とし、博く東西の學說を參酌して筆を催眠術の原理に起し、心理學、生理學、醫學等
の根底より催眠術を以て治療し得べき諸種の疾病の病理、症候、經過、療法等を説明せられたる催眠學
界空前の大著にして催眠術研究者は、勿論、醫家、經世家等の苟も等閑に附すべからざる良書也。

發行所 東京市本郷區 東亞書房

宮内大臣 田中光顯氏題字
故子 爵 渡邊國武氏手簡
原抱一庵氏序

龜谷天尊先生著

再版

賜天覽

琴

袖珍全一冊頗美製本
定價四十五錢
郵稅六錢

本書は天尊龜谷氏が、其該博超凡の識を以て、宇宙の萬象を達觀し、その胸裡の琴線に觸れて流露せし筆の跡を、輯めて高雅なる一冊子となし畏くも、聖上、皇后兩陛下乙夜の覽に供し奉りたるものにして、詩歌あり、紀行あり、漫録あり、日本新聞は「苟も天尊を知らんとするものは必ず一讀すべき文字なり」と稱し、毎日新聞は「讀者をして感殆ど窮りなからしむ」と言ひ、二六新聞は「野櫻鏡き文字ありて頗る多方面なり」と評せり。

東京開成中學校 講師 佐藤仁之助先生著

好評

新案百人一首通解

寸珍全一冊體裁典雅
定價十錢 郵稅二錢

小倉百人一首を、頭字に據りてあいうえお順に排列し、ごくわかり易く解釋した。百人一首を覺えるためにも、亦和歌を習ふ人の參考にも至つて便利な可愛い本!

佐藤仁之助先生校補 東亞堂編輯所編

增訂

國語異同辨

附 假字用法及誤り易き動詞語尾區別表

寸珍全一冊定價十五錢
郵稅二錢

本書は國語の中に於ける同字同音の語句或は相似の文字にして其意義を異にするもの數千言を對照し一々懇切に其異同を辨じたるものにして斯學に於て堪能の聞え高き佐藤仁之助先生の嚴密なる校補を経且つ同先生の新案に成れる便利なる假字用法及動詞語尾區別表を附したれば國語研究者の參考として有益無比の良書也

文學士 武島羽衣先生序

慶應義塾普通部 國文科教師

志賀華仙先生著

好評

作歌のしをり

全一冊體裁優美
定價二十五錢
郵稅四錢

武島先生の序に曰く「細やかにして煩しからず心得易くして卑しきに流れず斯道の隈々人の迷ふべき所々を説き明らめたるはげにおぼろげならぬいたづきとやいはまし」と又讀賣新聞は「叙述簡略初學者の好參考書也」と評せり

發行所 東京市本郷區 東亞堂書房

發行所 東京市本郷區 東亞堂書房

師講文漢及語國校學中成開京東
著生先助之仁藤佐

受驗
參考

國語漢文要語詳解

合本上製 定價壹圓
郵稅拾二錢

〔分本〕國語之部、定價四拾錢、郵稅八錢。漢文之部、定價卅五錢、郵稅六錢。本書は文學博士黒川眞頼先生の高足として、國語漢文言語學等の造詣深き佐藤仁之助先生が、從來東京開成中學校に在りて、本科目の教鞭を執らるゝ傍ら、多年の實踐に基づき、各高等學校試驗問題及び教員檢定試驗問題等を參照して、中學程度より以上教員檢定受驗者諸君の參考に供せむため、特に數年の歲月を費し、博く各書を涉獵して、單語、成句、故事、熟語等の如きは、必要難解の語句を採り、一明快なる解釋を下されたるものなり。殊に國語の變遷あるものは、意の解釋上必要なりと思はるゝものには、其語原を註記し、尙其意義の變遷あるものは、條を分ちて註釋し、更に一々書冊に徴して其文例を掲げ、且梵語等の外來語より轉じたるものには、羅馬字を挿入して、原語の發音を明にせし、等語の用意的周到なる、從來江湖に散在せる此種の書類中未だ曾て其比を看ざる處なり、又毎語の排列は之を音順にして、幼時より慣らされたる學生諸子の索出に便し、如何に其便益の好著なるかを知らしめて、兩者孰れにても容易に搜索するを得らるゝが如き、如何に其便益の好著なるかを知らしめて、兩者孰れにても容易に搜索するを得らるゝが

再版 漢字異同辨及用法

寸珍 定價二十錢
全一冊 郵稅二錢

同訓或は同音にして意義を異にする漢字の異同及用法を辨じたるもの別項の「國語異同辨」と相俟て文章家必携の寶典也。

發行所 東京市本郷區 亞東書房

法政大學教授 法學博士梅謙次郎君序
早稻田大學 法學博士高田早苗君序

亞浪白田卯一郎君著

再版 最近學校評論

洋裝全 十一頁
定價四拾錢
郵稅四錢

學校は人材の搖籃也、志望の成否繫りて學校の善惡に存す。本書は則ち東京に於ける各種男女學校の真相を、正面より、側面より、最も大膽に、最も精細に、縱横の論評を試み、以て學界を警醒し、學生を利導せるもの。時に親を滅して斬馬劍を揮ひ、時に諄々として成功の福音を傳ふ。眞に近來の快著にして又學藝修業者の新光明也、敢て滿天下の學生諸君並に父兄諸君に一本を薦む。

發行所 東京市本郷區 亞東書房

黑岩周六先生序 加藤咄堂先生著

▲新式美術的奇装▼

高評 八版 冥 想 論

菊判 全一冊
定價 三十五錢
郵稅 六錢

與國の氣運大に熟し、國民品性の修養今日より急なるはなし、本書は、著者が該博の識と流麗の筆とを以て、品性修養の根底たる冥想を、各種の方面より論究し、獨坐靜思の快感を説きて、理論と方法とを詳叙し、進んで禪の宇宙觀、人生觀を述べて、瞻力養成の法に及ぶ、快感を加ふるに、雜感の一篇は、實に君が牛生の思想史とも稱すべきものにして、奇想縱橫、趣味滿幅、世の修養に志あるの士本書を讀まば、曉悟する所必ずや大ならむ。

幸田露伴先生序 加藤咄堂先生著

再版 冥 想 朝 思

雜冥 感想 暮 想

全二冊
定價各冊三十錢
郵稅各冊四錢
合本上製七十五錢
同 郵稅八錢

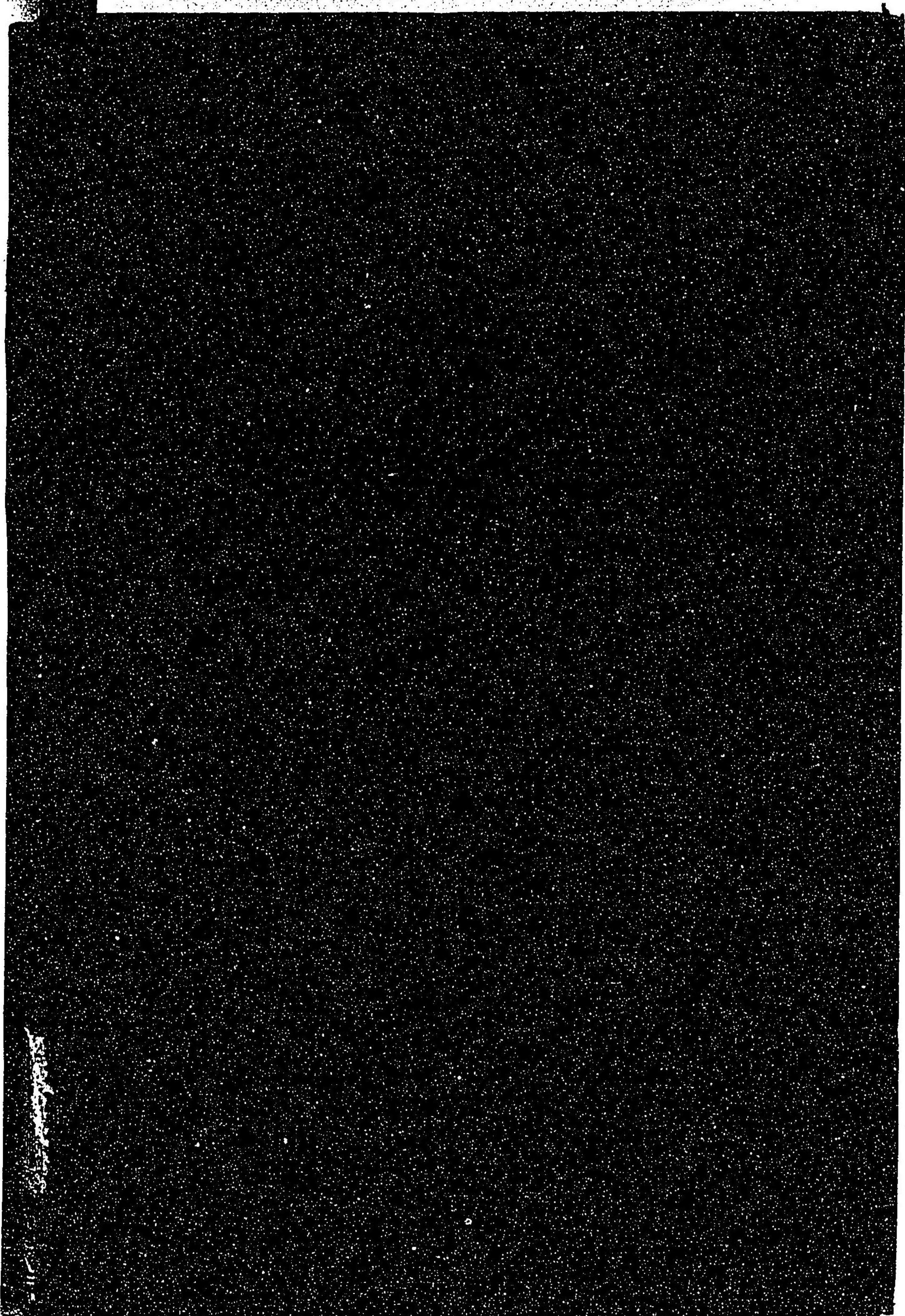
加藤咄堂先生は論客たるに俱に又文章家也其論辯の範圍の博きが如く其筆力の自在勁健にして奇想縱橫の趣を極めたるは多く匹儔を見ざる所也本書は先生が坐臥行住靜思冥想の餘に得られし奇感數百則の中粹を抜き稱を幸めて珊瑚珠を連れたるが如き物にして其趣味の多様なる其又論の流麗なる之を近代文章の模範と稱すとも亦溢美の言にあらざる也苟も文章家としての君を知らむと欲するの士は座右一本を備へざるべからず。

發行所 東京市本郷區 東亞堂 本郷一丁目

東洋堂



3/
33/



111

M

087423-000-6

31-331

俳句研究

沼波 瓊音/著

M40

DBE-0773

